



東京都高等学校数学教育研究会
事務局 都立本所高等学校内
事務局長 小山 克之
発行所 都立桐ヶ丘高等学校内
編集発行人 大島 和華子
都数研HP <http://tosuiken.jp/>

令和4年度 総会

令和4年度総会が、令和4年5月14日(土)14:00から都立多摩科学技術高等学校にて行われた。昨年・一昨年と緊急事態宣言の発出に伴いオンライン開催の総会であったが、3年振りに対面の総会を実施することができた。議事の流れは以下の通りである。

1. 会長挨拶
2. 令和3年度事業報告
3. 令和3年度決算および監査報告
4. 令和4年度 役員・理事一覧
5. 新会長挨拶
6. 新役員紹介
7. 令和4年度 事業計画
8. 令和4年度 予算

なお、役員に関しては昨年度の加藤会長に代わり、今年度から原田校長が会長に就任された。主な役員一覧は以下の通りである。

会 長 原田 能成 (三田・長)
副 会 長 塩谷 耕 (京華女子・長)
石崎 規生 (桜修館・長)

事 務 局 長	小山 克之 (本所・長)
事務局次長	宇佐美 俊哉 (神代)
	池田 卓也 (一橋)
研 究 部 長	久保田 聡 (五日市・長)
副部長	森田 常次 (多摩科学技術・長)
	福原 利信 (田園調布・長)
	佐々木 雅人 (篠崎)
定 通 部 長	東 達康 (飛鳥定・副)
編 集 部 長	大島 和華子 (桐ヶ丘・副)
副部長	白鳥 靖 (小金井北・長)
	奥村 英夫 (葛西南・定)
	水本 香 (研修セ)
監 事	萩原 聡 (西・長)
	高橋 豊 (高島・長)
	梅原 章司 (日比谷・長)

その他の議事は全て承認され、研究発表に移った。発表に関しては次のページに記載する。

会長挨拶 会長 原田 能成 (三田高・校長)

本年度、東京都高等学校数学教育研究会会長を仰せつかりました東京都立三田高等学校長の原田能成です。前年度までの都数研の活動方針を継承、発展できるよう邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、長引くコロナ禍で、各校におかれましては臨機応変な教育活動の変更や対応、感染症対策の徹底や学びの継続に御苦労されてことと思います。また、各校におかれましては、令和4年度から段階的に実施される新学習指導要領等の対応、観点別学習状況の評価、大学入学共通テストの受験に向けた指導など様々な御対応、生徒一人1台端末環境の実現が進む中、全ての生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現していくため、教育データの効果的な利活用を促進するために具体的な取組を御検討のことと存じます。このような中、都数研会員の先生方には、都数研の活動に御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

私たちは、個々の授業のねらいをどこまでどのように達成したかだけでなく、生徒一人一人が、前の学びからどのように成長しているか、より深い学びに向かっているかどうかを捉えていくことが必要です。また、令和6年度から本格実施される「大

学入学共通テスト」が本格導入され、様々な点で変化がもたらされます。

そこで令和4年度の東京都高等学校数学教育研究会研究テーマは、「改訂高等学校学習指導要領全面实施に向けた数学教育の研究：観点別学習評価や大学入試改革に向けた数学学習を目指して」を設定しました。

研究部では、学習指導法分科会、大学入試分科会、ICT分科会、数学I分科会、定通分科会で授業研究を中核とした議論を進めていきます。また、編集部では、「研究集録」の発行や各分科会の成果を年3回発行の「会報」にまとめ、都数研のホームページに掲載することで、全国に向けて発信してまいります。

現代を生き抜く生徒に、「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。」という気持ちを大切にまいります。コロナ禍ではありますが、主体性と協働性の実践を通して、研究の充実を図り、邁進する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。